

大規模洪水に対する減災対策

近年各地で頻発する大規模広域豪雨に備えるためには、河川改修等のハード対策の着実な推進とあわせ、施設の能力を上回るような洪水に対応するためのソフト対策が必要不可欠です。

平成30年5月に発足した「静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会」や令和2年8月に発足した「狩野川流域治水協議会」を通じて、国、県、市町等の関係機関(構成員)が連携してハード・ソフト対策を進めています。

達成すべき目標

東部地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ、「住民の防災意識の向上」、「逃げ遅れによる人的被害をなくすこと」、「氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目指します。

目標達成に向けた重点取組事項

(1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

① 防災教育の促進

(2) 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・

排水活動・復旧活動等の取組

② 水防団(消防団)の組織強化

③ 水防活動の充実

④ 治水施設整備の促進

(3) 地域住民の確実な避難のための取組

⑤ 洪水時における情報提供の充実

⑥ 広域避難体制の構築

⑦ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進



協議会の開催状況



防災教育の促進（小学生を対象とした出前講座）



水防活動の充実（危機管理型水位計の設置）